

【講義・実習名：臨床実習（Stage1）の地域医療実習】

# 地域医療実習の手引き

期日：令和2年9月7日～11月13日

実習の2週間前に、必ず担当医の先生、および事務担当の方に連絡を入れてください。

（詳細は各病院のページを参照）



OITA UNIVERSITY

大分大学医学部地域医療学センター

学則変更の趣旨-24

# 地域医療実習の手引き

(令和2年9月7日～11月13日)

実習の2週間前に、必ず担当医の先生、および  
事務担当の方に連絡を入れてください。

(詳細は各病院のページを参照)

大分大学医学部地域医療学センター

## 目 次

P1	目次
P2	地域医療実習における注意事項
P3	地域医療実習の一般目標、到達目標、行動目標
P4-5	施設ごとの到達目標・行動目標
P6	地域医療実習病院MAP
P7	実習期間と学生の配属先
P9-42	実習プログラム
P 9-10	豊後大野市民病院
P11-12	津久見中央病院
P13-14	JCHO 南海医療センター
P15-16	大分健生病院
P17-18	臼杵市医師会立コスモス病院
P19-20	大分岡病院
P21-22	佐賀関病院
P23-24	竹田医師会病院
P25-27	国東市民病院
P29-30	杵築市立山香病院
P31-32	高田中央病院
P33-34	川島整形外科病院
P35-36	天心堂へつぎ病院
P37-38	宇佐高田医師会病院
P39-40	JCHO 湯布院病院
P41-42	中津市立中津市民病院
P43-	クリニカル・クラークシップの手引き（参考資料）
P47-	「臨床研修の到達目標」について（参考資料）
P55-	「医学生の臨床実習における医行為と水準」の例示（参考資料）
P56-	医学教育モデル・コア・カリキュラムにおける地域医療教育（参考資料）
P57-	患者さんアンケート（アンケートへのご回答の御願い）
P58-	指導医による学生の評価
P59-	学生による地域医療実習の評価
P60-	クリニカル・クラークシップ自己評価表（全科共通）
P61-	クリニカル・クラークシップ評価表（全科共通）
P62-	地域医療実習 実習責任者・担当者

# 地域医療実習における注意事項

## 実習を始めるにあたり

大分大学医学部は、大分県の高度先進医療・医学研究の拠点であると同時に、大分の地域医療を支える役割も担っている。近年、地域医療に対する社会的ニーズが高まっていることを踏まえ、大分大学では医学科5年生を対象に地域医療実習を開始した。本実習は、地域医療の第一線で活躍されている地域中核病院・診療所・介護保険施設の医師・看護師をはじめとするスタッフの方々、保健所・市町村行政の方々、および地域住民の方々から、多大な御協力を頂くことにより、初めて実現可能となったものである。

## 実習にあたり特に注意すること

- 1) 患者の“個人情報保護”を遵守すること。
- 2) 自身の健康に気をつけ、万全の体調で実習に臨めるように体調管理すること。
- 3) 時間を遵守すること。
- 4) 実習を欠席する場合は実習先病院と地域医療学センターに学生本人から連絡を入れること。
- 5) 挨拶を欠かさないこと。
- 6) 実習に相応しい服装、身なりをすること。
- 7) 患者には丁寧な言葉使い、誠実な態度で応接すること。

## 準備するもの

- 1) “清潔な”白衣
- 2) 名札
- 3) 聴診器、ペンライトなどの診察用具
- 4) 筆記用具・ノート類
- 5) 上履き（スリッパ不可）
- 6) マスク

## その他の注意事項

- 1) 各自、配属先の病院連絡欄を一読し、実習配属の2週間前に担当医師および事務担当の方々に連絡を必ず入れること。  
(本手引きに記載のない担当医師のメールアドレスは、個別にメールでお知らせます)
- 2) 実習初日(第2クールは水曜日)の集合時間は9時、場所は管理棟3階中会議室です。



### **【大分大学地域医療実習における心得】**

- 学生といえども、診療チームの一員として患者診療に『責任』を持って関わること。
- 自分のできる範囲で、自分の獲得している知識、技能、態度を使って患者に貢献すること。  
その時、初めて自分には何が出来て、何が出来ないのかを知ることができる。
- 日々の研修を通して、貢献できる範囲を広げていけるようにする。

# 地域医療実習の一般目標、到達目標、行動目標

## 【一般目標】

地域医療に貢献する能力を身につけるために、体験学習をとおして地域医療の現状および課題を理解し、地域医療における医師・患者関係および保健・医療・福祉・介護のネットワークを学び、地域住民が必要とする医療について考える。

## 【到達目標】

- 1) 地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。
- 2) へき地における地域医療の現状と課題について説明できる。
- 3) 医師の偏在（地域および診療科）の現状について説明できる。
- 4) 地域における、保健（母子保健、老人保健、精神保健、学校保健）・医療・福祉・介護の分野間の連携の必要性について説明できる。
- 5) プライマリ・ケアの必要性を説明できる。
- 6) 地域における、救急医療、在宅ケアの体制を説明できる。
- 7) 患者、医療スタッフ、地域住民と良好にコミュニケーションできる。
- 8) 地域医療に積極的に参加・貢献する。

## 【行動目標】

- 1) 地域中核病院における病棟診療、外来診療に参加する。
- 2) 地域中核病院における救急医療（当直）に参加する。
- 3) 診療所における外来診療に参加する。
- 4) 訪問診療、訪問看護に参加する。
- 5) 保健所における業務に参加し、保健活動を体験する。
- 6) 介護保険施設における福祉、介護を体験する。
- 7) 医療スタッフと地域医療について語り合う。
- 8) 行政関係者や地域住民と医療について語り合う。

# 施設ごとの到達目標・行動目標

## 中核病院における病棟実習

- ① 1名の患者を2週間にわたり担当する。
- ② 原則として毎日、担当患者の問診、診察を行い、カルテ(学生用)に記載するとともに、日々の変化を主治医、あるいは看護師へ報告し、対処方法について検討する。
- ③ 担当患者の疾患のみならず、家族、暮らしている環境、地域について理解する。
- ④ 担当患者の処置、検査、手術、リハビリ等に立ち会い、指示された役割を果たす。
- ⑤ 担当患者の主治医意見書、訪問看護指示書、訪問リハビリ指示書等の草案を作成する。
- ⑥ 病棟患者の看護的業務の介助を行う。
- ⑦ 病棟カンファレンスや医療ソーシャルワーカー(MSW)の業務見学などを通じて、病院とその他の医療、介護・福祉施設との医療連携について理解する。
- ⑧ 機会があれば臨終に立会い、死後処置などを見学する。
- ⑨ 任された業務において、責任を持って患者に貢献するよう努める。

## 中核病院における救急(当直)実習

- ① 指導医とともに夜間当直を行う。
- ② 指導医の指導・監視の下、診察を行う。
- ③ 指導医の指導・監視の下、検査(心電図、検尿、採血など)を行う。
- ④ 指導医の指導・監視の下、治療(創傷処置、止血、縫合など)を行う。
- ⑤ 気管内挿管、心臓マッサージ、電気的除細動の介助、見学を行う。
- ⑥ 指導医の許可の下、患者、家族への病状説明に同席する。
- ⑦ 地域における救急医療および災害医療の体制を理解する。
- ⑧ 救急隊からの救急患者受け入れの流れを理解する。

## 中核病院における外来実習

- ① 初診患者の問診、身体診察を行い、診断・治療方針を自ら考える。
- ② 指導医の外来診察を見学し、患者-医師関係、臨床推論の仕方を理解する。
- ③ 再来患者の問診、血圧・体温・酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)測定を行う。
- ④ 外来における処置の介助を行う。

## 診療所における外来実習

- ① 指導医の診察を見学し、医師-患者コミュニケーションや診察における技能や態度を学習する。
- ② 初診患者の問診および身体診察を行い、臨床推論を立てる。
- ③ 再来患者の血圧・体温・酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)測定を行う。
- ④ 指導医の指導・監視の下、心電図、超音波検査を行う。
- ⑤ リハビリの介助を行う。
- ⑥ 創傷処置、皮膚消毒、包帯交換の見学、介助を行う。
- ⑦ 患者・家族へのインタビューから住民が診療所に期待する思いを理解する。

### 訪問診療実習

- ① 訪問診療(往診)に同行する。
- ② 訪問先で血圧・体温・酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)測定、身体診察などを行う。
- ③ 患者の異変を察知する努力をする。
- ④ 患者および家族とのコミュニケーションを図る。
- ⑤ 患者および家族との会話から、在宅医療のメリット・デメリットを知る。
- ⑥ 患者の家族構成・居住環境を確認し、問題点とその解決策を考える。
- ⑦ 患者に必要な医療、福祉、介護について考える。

### 訪問看護ステーションにおける実習

- ① 訪問看護に同行する。
- ② 訪問先で血圧・体温・酸素飽和度(SpO<sub>2</sub>)測定、身体診察などを行う。
- ③ 看護的業務(体位変換、おむつ交換、移送など)の介助を行う。
- ④ 患者および家族とのコミュニケーションを図る。
- ⑤ 患者および家族との会話から、在宅医療のメリット・デメリットを知る。
- ⑥ 患者の家族構成・居住環境を確認し、問題点とその解決策を考える。
- ⑦ 患者に必要な医療、福祉、介護について考える。

### 保健所における実習

- ① 地域の保健業務について学習する。
- ② 地域における予防医療の重要性を理解する。
- ③ 保健師の家庭訪問に同行し、その活動を体験する。
- ④ 食中毒や集団感染症の対応を見学する。
- ⑤ 地区の健康相談会などで業務を分担する。
- ⑥ 地域住民に対して健康講話を行う。

### 福祉施設における実習

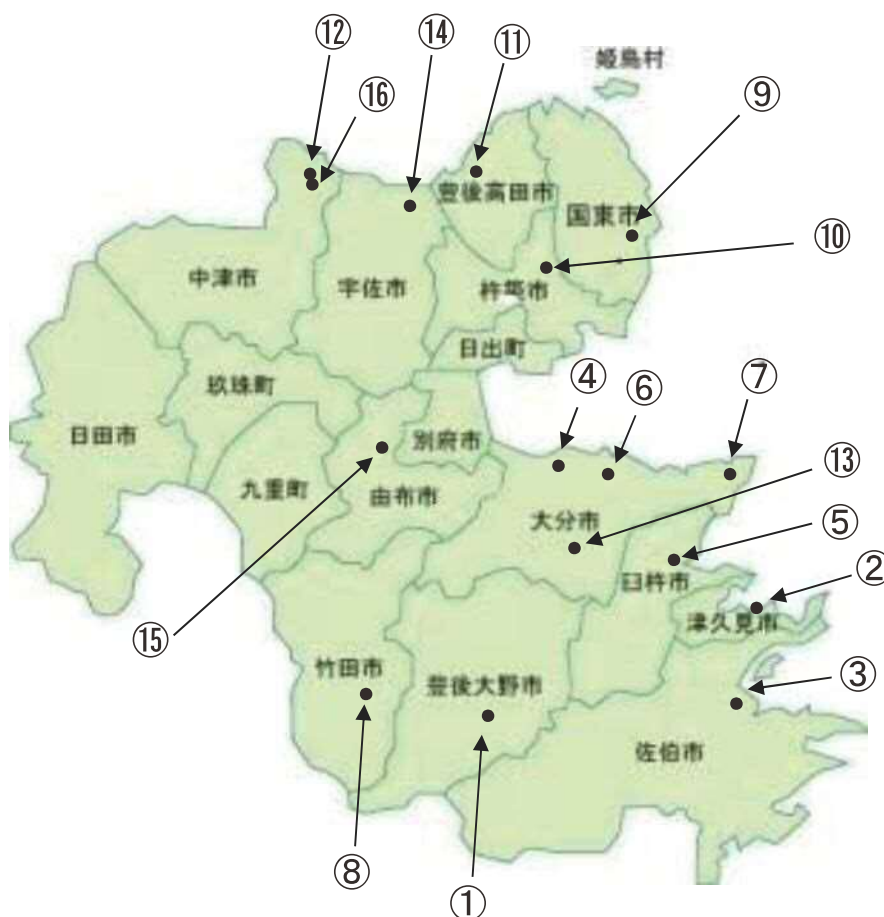
- ① 看護的業務(体位変換、おむつ交換、移送など)の介助を行う。
- ② 入浴介助、食事介助などを手伝う。
- ③ リハビリテーションに参加し、介助を行う。
- ④ 入居者と懇談する等、コミュニケーションを図る。
- ⑤ ケア・カンファレンスに参加する。

### 市町村健康福祉課での実習

- ① 市長あるいは健康福祉課長から地域医療の現状について話を聞く。
- ② その地区の医療・保健・福祉のネットワークについて理解する。
- ③ 乳幼児検診・三歳児検診などに参加し、介助を行う。
- ④ 住民の健康相談に立ち会う。
- ⑤ 地域住民の医療ニーズを理解する。

# 地域医療実習病院

- ① 豊後大野市民病院
- ② 津久見市医師会立津久見中央病院
- ③ JCHO 南海医療センター
- ④ 大分健生病院
- ⑤ 臼杵市医師会立コスモス病院
- ⑥ 大分岡病院
- ⑦ 佐賀関病院
- ⑧ 竹田医師会病院
- ⑨ 国東市民病院
- ⑩ 杵築市立山香病院
- ⑪ 高田中央病院
- ⑫ 川嵐整形外科病院
- ⑬ 天心堂へつぎ病院
- ⑭ 宇佐高田医師会病院
- ⑮ JCHO 湯布院病院
- ⑯ 中津市民病院





# 実習プログラム

津久見中央病院以下は省略

P 9-10	豊後大野市民病院
P11-12	津久見中央病院
P13-14	JCHO南海医療センター
P15-16	大分健生病院
P17-18	臼杵市医師会立コスモス病院
P19-20	大分岡病院
P21-22	佐賀関病院
P23-24	竹田医師会病院
P25-27	国東市民病院
P29-30	杵築市立山香病院
P31-32	高田中央病院
P33-34	川瀧整形外科病院
P35-36	天心堂へつぎ病院
P37-38	宇佐高田医師会病院
P39-40	JCHO湯布院病院
<b>P41-42</b>	<b>中津市立中津市民病院</b>

# 豊後大野市民病院

病 院 長： 木下 忠彦

住 所： 豊後大野市緒方町馬場276番地

交 通： 大分駅からJR豊肥本線「緒方」駅下車、病院まで徒歩10分

実 習 責 任 者： 木下 忠彦(事業管理者兼院長)

実 習 担 当 者： 岩尾 哲(副院長) 森井 雄治(副院長)  
工藤 政信(内科総合診療部長) 棚橋 仁(消化器内科部長)  
加島 尋(糖尿病・代謝内科部長) 一宮 朋来(呼吸器内科部長)  
其田 和也(外科部長)

実習協力施設： 三重東クリニック 特別養護老人ホーム任運荘 障がい者支援施設騰々舎  
大分県豊肥保健所 豊後大野市役所

宿 泊 先： 豊後大野市民病院地域医療研究研修センター(学生専用の宿泊施設)

実習担当医師連絡先： 岩尾 哲 先生 (iwao@oita-u.ac.jp)

事務担当者連絡先： 医事経営課 衛藤 ひろみさん (keiei-k@bungo-ohno-hp.jp)

連絡事項： 実習の2週間前に岩尾先生と衛藤さんへメールで連絡をしてください。

実習に際しての注意事項：

1. 不明な点を自分だけで解決せず担当医、あるいは事務担当者に遠慮なく聞いて確認するように
2. 高齢者が多いので分かりやすい言葉ではっきり話すように
3. 高齢者に対し人生の先輩として敬意を払うように
4. 地域医療の現場を積極的に学ぶ
5. 院外の先生たちに礼儀正しく規則を守って学ぶ



# 豊後大野市民病院

## - 2020年度 地域医療実習スケジュール -

第1週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	実習の概要説明 (地域医療学センター)			
火曜日	オリエンテーション (豊後大野市民病院)	院長と昼食	病棟実習・患者担当 (豊後大野市民病院)	宿泊
水曜日	外来実習 (豊後大野市民病院)	昼食	リハビリ・検査科 放射線科実習 (豊後大野市民病院)	宿泊
木曜日	診療所での外来実習 (三重東クリニック)	昼食	診療所での往診 (三重東クリニック)	宿泊
金曜日	外来実習 (豊後大野市民病院)	昼食	行政、市民との懇談 講義・相談業務など (市役所市民生活課)	宿泊

第2週	午前	昼	午後	17時以降
月曜日	訪問看護・訪問に同行 (豊後大野市民病院、市内)	昼食	病棟実習・看護実習 (豊後大野市民病院)	宿泊
火曜日	特別養護老人ホーム 障がい者支援施設 (講義、デイケア等) (任運荘、騰々舎)	昼食	特別養護老人ホーム 障がい者支援施設 (回診、介護保険学習) (任運荘、騰々舎)	宿泊
水曜日	健診センター実習 (豊後大野市民病院)	昼食	保健所実習 (大分県豊肥保健所)	宿泊
木曜日	外来実習 (豊後大野市民病院)	昼食	巡回診療または病棟実習 (豊後大野市民病院)	宿舎片づけ
金曜日	発表会準備 (地域医療学センター)	昼食	発表会 (地域医療学センター)	

日程を変更する場合がありますのでご了承ください。

は地域医療学センターにて

【講義・実習名：臨床実習（Stage1）の総合診療・総合内科】

# 総合診療・総合内科

集合場所： 地域医療学センター・セミナー室（管理棟3階・内線  
5106/6306）

集合時間： 8時00分

（第1週月曜日が休日の場合、翌火曜日の朝8時に全員集合のこと）

クラークシップ・ディレクター： 宮崎 英士 （PHS 2044）

アテンディング： 山本 恭子 （PHS 2515）

チーフ： 阿部 航 （PHS 2533）

吉岩 あおい （PHS 2525）

塩田 星児 （PHS 2215）

土井 恵里 （PHS 2529）

宇都宮 理恵 （PHS 2049）

木村 日香梨 （PHS 2621）

## 総合診療・総合内科

### 【一般目標】

様々な症候を呈する初診患者に対応する能力を身につけるために、基本的な医療面接手法、診察手技、臨床推論の立て方、およびコミュニケーションとプレゼンテーション技法を修得する。

### 【行動目標】

- ① 外来初診患者に対して適切に医療面接を実施できる
- ② 外来初診患者に対して適切に身体診察を実施できる
- ③ 臨床上的の問題点を抽出した Problem List を作成できる
- ④ 症候から病態を考えることができる
- ⑤ 臨床推論を組み入れたプレゼンテーションを行うことができる
- ⑥ 患者の心理・社会的背景に配慮できる
- ⑦ 認知症患者と家族に共感した応対と診療サポートができる
- ⑧ 在宅医療において医師に求められる能力を説明できる
- ⑨ 救急現場での総合診療能力の必要性を説明できる
- ⑩ 実習する病院・診療所における総合診療医の役割を述べることができる

総合診療・総合内科学講座

第1週	月	火	水	木	金	
8:00~9:00	8時 オリエンテーション					
8:30~ 外来の振り返り(担当患者についてプレゼンテーション)						
9:00~10:00	外来実習	Aグループ (大学病院) 外来実習 *****	Aグループ (大学病院) 外来実習 *****	Aグループ (大学病院) 外来実習 *****	課題実習	
10:00~11:00		Bグループ 学外実習	Bグループ 学外実習	Bグループ 学外実習	シミュレーション (山本)	
11:00~12:00						
12:00~13:00	昼休み					
13:00~14:00	認知症の人への対応 (吉岩)	Aグループ (大学病院) ミニレクチャー/ 臨床推論	Aグループ (大学病院) ミニレクチャー /臨床推論 エコー実習	Aグループ (大学病院) ミニレクチャー /臨床推論	臨床推論 ロールプレイ (宮崎)	
14:00~15:00	もの忘れ外来 問診 (吉岩)			Bグループ 学外実習		Bグループ 学外実習
15:00~16:00	ミニレクチャー					
16:00~17:00	病棟回診 カンファレンス	Bグループ 学外実習	Bグループ 学外実習	総合診療・総合内科 カンファレンス (Aグループのみ)		
17:00~18:00	振り返り	振り返り	振り返り	振り返り		

第2週	月	火	水	木	金	
8:00~9:00						
8:30~ 外来の振り返り(担当患者についてプレゼンテーション)						
9:00~10:00	外来実習	Bグループ (大学病院) 外来実習 *****	Bグループ (大学病院) 外来実習 *****	Bグループ (大学病院) 外来実習 *****	発表準備	
10:00~11:00		Aグループ 学外実習	Aグループ 学外実習	Aグループ 学外実習		
11:00~12:00						
12:00~13:00	昼休み					
13:00~14:00	もの忘れ外来	Bグループ (大学病院) ミニレクチャー/ 臨床推論	Bグループ (大学病院) ミニレクチャー /臨床推論 エコー実習	Bグループ (大学病院) ミニレクチャー /臨床推論	発表準備	
14:00~15:00		Aグループ 学外実習		Aグループ 学外実習	***** Aグループ 学外実習	発表会
15:00~16:00					ミニレクチャー	
16:00~17:00	病棟回診 カンファレンス	Bグループ 学外実習	Bグループ 学外実習	総合診療・総合内科 カンファレンス (Bグループのみ)		
17:00~18:00	振り返り	振り返り	振り返り	振り返り		

## 総合内科・総合診療科【Stage2】

### 1. 実習の基本方針 (目的・到達目標)

総合内科・総合診療科では、さまざまな症状で受診する外来患者に対し、病歴聴取・身体診察を行い、臨床推論、検査・治療法の提案、診療録記載、カンファレンスでのプレゼンテーションまで、外来診察の一連の流れを実習します。また、大学病院の総合診療科だけではなく、学外施設の総合診療科での診療参加型実習を通して、これからの高齢化社会においてニーズの高い総合診療について学びます。

#### 【一般目標】

高齢化社会において必要とされる医師になるために、5年次生までに学んだ「医学知識・技能」をさらに向上させ、チーム医療の一員としての責任を果たすことができる。

#### 【到達目標】

- ① 適切な病歴聴取と身体診察ができる。
- ② 高齢者特有の問題を的確に把握し、対応を考えることができる。
- ③ 鑑別診断を挙げ、診断に必要な検査と治療方針を提案できる。
- ④ 受け持った患者のプレゼンテーションを行うことができる。
- ⑤ POMR形式で診療録を記載できる。
- ⑥ 指導医・医療従事者と一緒にチーム医療を提供できる。
- ⑦ 実習で同席した下級生に対して適切なアドバイスができる。
- ⑧ 実習で、自ら問題を見つけ、これを解決する手段、すなわち「省察」を実践できる。

### 2. 実習の方法 (行動・行動指針)

当科の実習は、学内・学外合わせて合計4週間とする。

学内：1-2週間 総合内科・総合診療科の外来実習

- ① プリセプティング・システムに則った外来実習を行う。
- ② 診断－治療－省察という基本的診療構造を学ぶ
- ③ 大学病院ならではの臓器横断症例や診断困難症例への対応・考え方を学ぶ。
- ④ 大学と地域の医療機関の連携を学ぶ。
- ⑤ POMR形式での診療録記載の仕方を学ぶ。

学外：2-3週間 大分県内の関連病院での実習 (次ページの施設に限る)

- ① 地域の診療所や病院でのプライマリ・ケア実習を行う。
- ② Common Diseaseの基本的な対応を学ぶ。
- ③ 肺炎、胆嚢炎、腸閉塞、尿管結石などの内科的救急医療実習を行う。
- ④ 心電図、超音波検査を指導医と共に実施する。
- ⑤ 地域に密着したプライマリ・ケアの重要性を理解する。
- ⑥ 学外から大学病院を俯瞰的に見て、医療連携の重要性を理解する。

★ 学外実習は1週間ずつ、複数の医療機関も選択可能である。学外実習は、事前説明会において決定するため、必ず参加すること。日時は後日メールにて連絡する。

学外施設	場所	担当科	責任者
別府医療センター	別府市	総合診療科	久保 徳彦
大分赤十字病院	大分市	救急総合診療科	高橋 健
大分市医師会立アルメイダ病院	大分市	総合診療科	高倉 健
大分健生病院	大分市	総合診療科	酒井 誠
やまおか在宅クリニック	大分市		山岡 憲夫
渡辺内科医院	杵築市		大野 繁樹
宮崎医院	由布市庄内町		宮崎 美樹
よつばファミリークリニック	大分市		平山 匡史
姫島診療所	国東市	※ 応相談	三浦 源太
奈義ファミリークリニック	岡山県奈義町	※ 応相談	松下 明

### 3. 実習上の注意事項

- (a) 時間厳守
- (b) Student Doctorとしての責任を自覚し、礼儀を守り行動すること。
- (c) 感染予防に努め、決められたルールに従った行動をすること。
- (d) 患者さんに対して誠実な態度で接すること。
- (e) 患者さんやその家族から「病状や治療方針、予後」などを訊かれても答えないこと。
- (f) 個人情報に対する守秘義務を守ること。

### 4. 実習スケジュール（学内実習）

**注意事項）実習初日（月曜日）は学内・学外を問わず、セミナー室に集合すること。**

時間/曜日	月	火	水	木	金
8:30~9:00	カンファレンス *学内実習者 全員参加* (管理棟3階 セミナー室)				
9:00~10:00					初診外来 スキルスラボ
10:00~11:00	外来・病棟				
11:00~12:00					
12:00~13:00	休 憩				
13:00~14:00					14:00~ 5年生発表の準備
14:00~15:00	外来・病棟・自学自習				
15:00~16:00					最終日 実習総括 *学内・外 全員参加*
16:00~17:00					

**※第4週の最後に行う実習総括は、学内・学外に関わらず、全員出席すること**



## 総合外科・地域連携学【Stage2】

### 1. 実習の基本方針 (目的・到達目標)

地域中核病院 (都市部と非都市部) での外科実習を通じて

- (1) 一般的な外科疾患 (surgical common disease) に対する適切な診察および診断技術を習得し、正しい治療選択ができる。
- (2) 地域中核病院における初期・2次救急患者に対する適切な診断と処置ができる。
- (3) 地域包括ケアにおける外科医の役割を学び、多職種との円滑な連携ができる。
- (4) 地域における外科医療に対するニーズや問題点が説明できる。

### 2. 実習の方法 (内容・行動指針)

- (1) 病棟で一般的な外科疾患の患者を担当し、病棟や手術室での実際の診療に参加する
- (2) 地域中核病院での外科外来診療、病棟診療に参加する。
- (3) 地域中核病院における救急医療の診療に参加する。
- (4) 地域の病院での外科患者に対する介護、リハビリ、福祉の連携を学ぶ。

### 3. 実習上の注意事項

- (1) 患者さんの個人情報を守り、患者さんに誠意をもって接する。
- (2) 実習にふさわしい服装、みなりをする。
- (3) 時間を遵守し、挨拶をかかさぬ。

### 4. 「医学生の臨床実習における医行為と水準」の例示

- (1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき

一般手技：体位変換、移送、皮膚消毒、外用薬の貼付・塗布、診療記録

外科手技：清潔操作、手洗い、ガウンテクニック、縫合、抜糸、消毒・ガーゼ交換

検査手技：腹部超音波

- (2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される

一般手技：中心静脈カテーテル挿入、動脈採血、ドレーン挿入・抜去

外科手技：手術、術前・術中・術後管理、外傷処置

検査手技：超音波検査の判読、内視鏡検査

【スケジュール】

(第1週目)

曜日	担当教員	午前	午後
月	白石 上田 川崎	・実習オリエンテーション ・外来実習 (担当: 上田)	・PBI: 腹痛の診方1 (虫垂炎) (担当: 白石) ・肝胆膵カンファレンス
火		・手術助手 ・病棟診療	・PBI: 腹痛の診方2 (胆石) (担当: 川崎) ・(実習) 腹部診察法 (担当: 上田)
水		・カンファレンス・回診 ・内視鏡検査 ・外来実習 (担当: 川崎)	・PBI: 黄疸の診方 (胆道炎) (担当: 川崎) ・消化管カンファレンス
木		・手術助手 ・病棟診療	・PBI: 腹壁形態異常の診方 (ヘルニア) (担当: 上田) ・(実習) 腹部エコー (担当: 川崎)
金		・カンファレンス ・手術助手・病棟診療	・PBI: 嘔吐(腸閉塞)の診方 (大腸癌) (担当: 上田) ・シミュレーター実習

※ 集合時間 . . . . 8 : 30

集合場所 . . . . 管理棟3階 地域医療学センター

(第2週目)

曜日	担当教員	午前	午後
月	学外実習 (大分岡病院)	【大分岡病院にての学外実習】 (8 : 00~17 : 00)	
火		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来診療実習 (一般外科・外傷を含む)</li> <li>・ 検査 (内視鏡、CT、エコーなど)</li> <li>・ 手術助手</li> </ul> (surgical common disease を中心に) ・ 2次救急患者に対する診断、処置、治療	
水			
木			
金			

※ 集合時間 . . . . 8 : 00

集合場所 . . . . 大分岡病院

## (第3週目)

曜日	担当教員	午前	午後
月	白石 上田 川崎	・学外実習総括 ・外来実習 (担当: 上田)	・PBI: 体重減少の診方 (胃癌) (担当: 白石) ・肝胆膵カンファレンス
火		・手術助手 ・病棟診療	・PBI: (腹痛) 背部痛の診方 (膵炎 (癌)) (担当: 川崎) ・(実習) 消化管内視鏡を読む (担当: 上田)
水		・カンファレンス・回診 ・内視鏡検査 ・外来実習 (担当: 川崎)	・PBI: 下血の診方 (肛門疾患) (担当: 白石) ・消化管カンファレンス
木		・手術助手 ・病棟診療	・PBI: 腹膜炎の診方 (潰瘍性穿孔) (担当: 上田) ・(実習) 腹部 CT を読む! (担当: 川崎)
金		・カンファレンス ・動物を用いた手術実習	

※ 集合時間 . . . . 8 : 30

集合場所 . . . . 管理棟 3 階 地域医療学センター

## (第4週目)

曜日	担当教員	午前	午後
月	学外実習 (豊後大野 市民病院)	【豊後大野市民病院にての学外実習】 (8 : 00 ~ 17 : 00)	
火		・外来診療実習 (一般外科・外傷を含む) ・検査 (内視鏡、CT、エコーなど)	
水		・手術助手 (surgical common disease を中心に)	
木		・1次救急患者に対する診断、処置、治療	
金	白石・上田・川崎 (学内)	・カンファレンス ・手術助手・病棟診療	・2 <sup>nd</sup> stage 総括 (白石・上田・川崎)

※ 集合時間 . . . . 8 : 00

集合場所 . . . . 豊後大野市民病院

医政第1068号  
令和3年8月24日

厚生労働省医政局長 様

大分県福祉保健部長 山田 雅文



地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和3年8月13日付け3文科高第501号、医政発0816第9号に基づき、下記のとおり、令和4年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

10名

- ・大分大学医学部における地域枠：10名

担当 : 医療政策課地域医療推進班 阿南、吉田  
電話番号 : 097-506-2658